

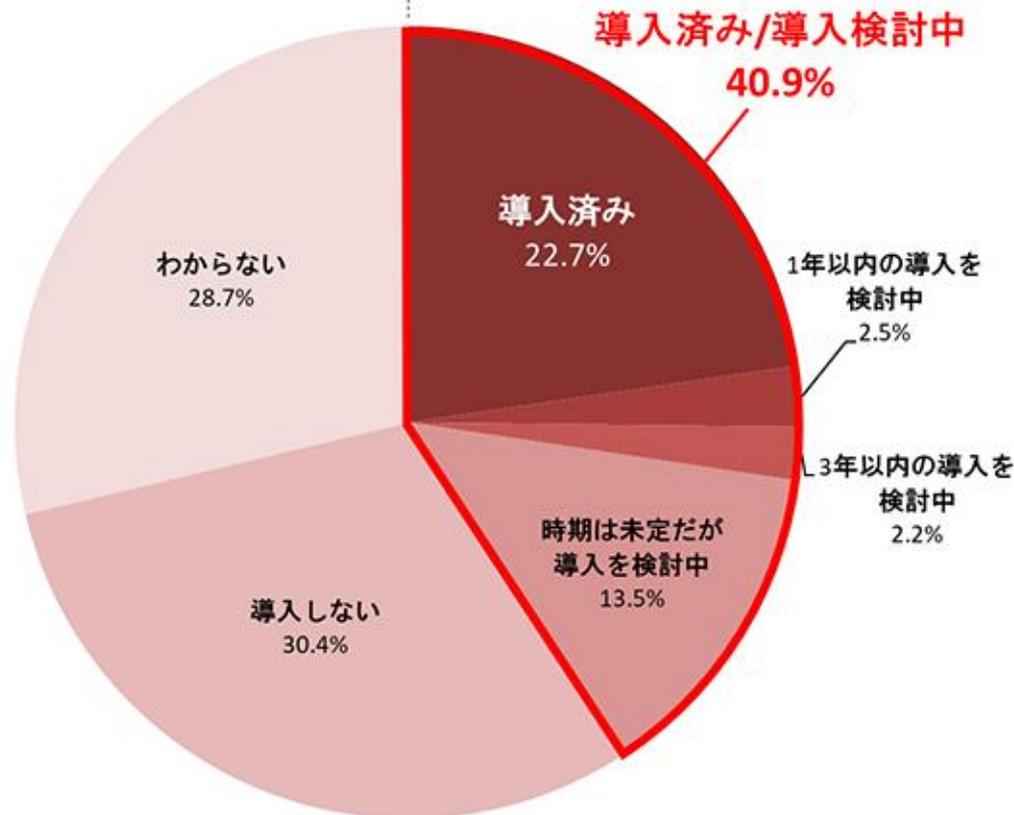
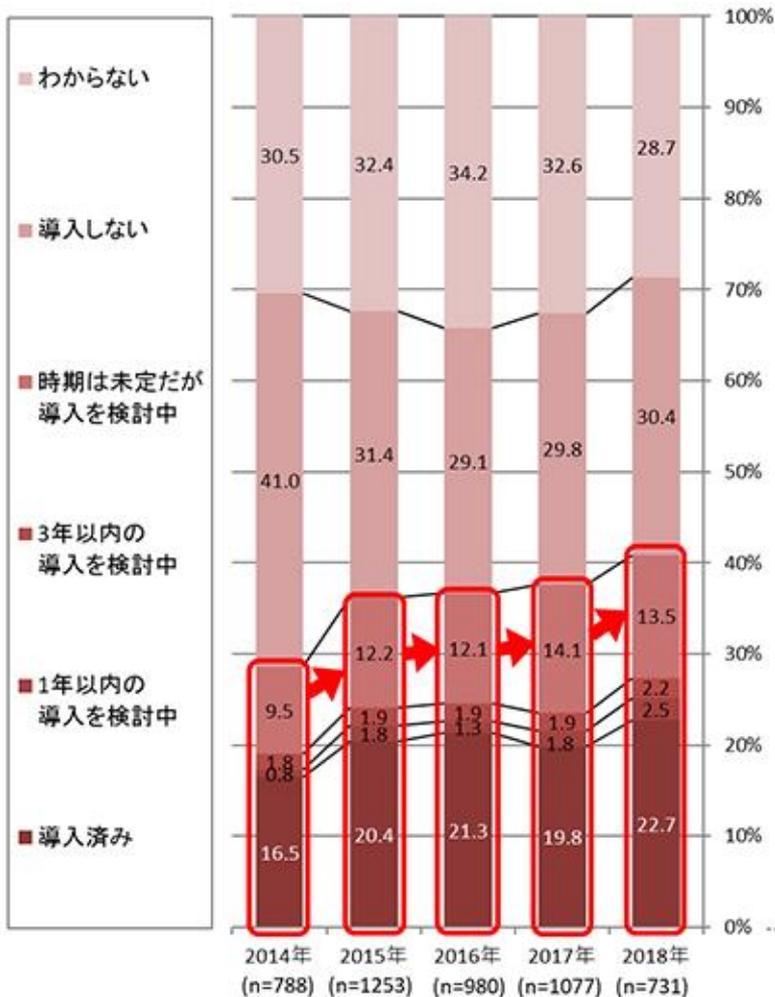


# Magicians Meeting

Tokyo, Japan  
October 24. 2018

## Magic xpiによる連携ソリューション

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社  
マーケティング部 渡辺 剛



(n=731)

～日経BPコンサルティング調べ

「データ連携に関するアンケート調査」～ 2018年7月18日

# Agenda

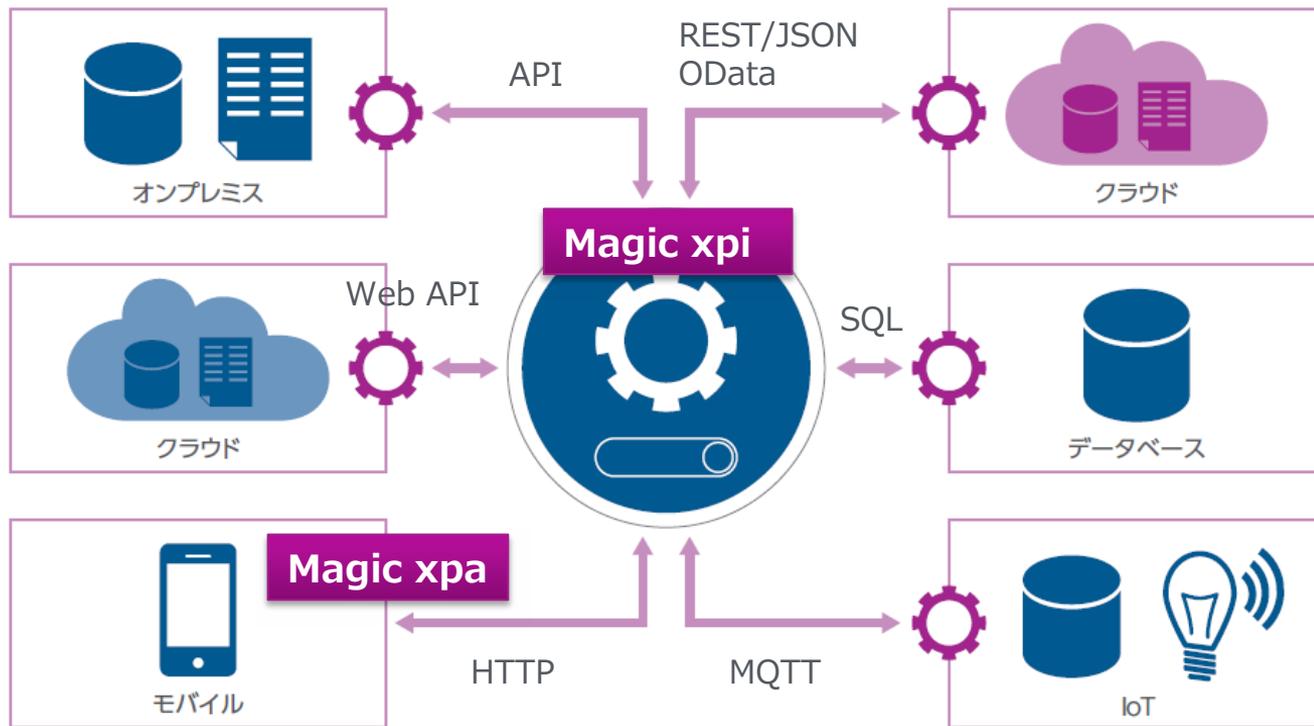
- Magic xpiとは
  - New! AWSアダプタ
- ペーパーレスソリューションに自動化をプラス
  - コーディングレスで業務を自動化
  - シナリオ1：電子契約サービスとの連携
  - シナリオ2：電子サイン+PDFソリューションとの連携
- クラウドサービスへの組み込み
  - データレイクへのデータ統合

# Magic xpiとは



# Magic xpi Integration Platform

あらゆるシステム/サービス間つなぐ システム連携プラットフォーム



# ドラッグ & ドロップで連携フローを作成

The screenshot displays the Magic xpi Studio interface. The central workspace shows a workflow diagram with several steps and triggers. Red arrows highlight the drag-and-drop process of creating a flow:

- One arrow points from the 'JSONファイル出力取得' step in the left toolbar to a 'Cays.LastErrorCode = 0' trigger in the main workspace.
- Another arrow points from the 'JSON & OKファイル出力' step in the left toolbar to a 'F.DBエラー-カウント < 3' step in the main workspace.
- A third arrow points from the 'JSON & OKファイル出力' step in the left toolbar to a 'GoTo-NOPF-1' step in the main workspace.

The right sidebar shows the 'ソリューション エクスプローラー' (Solution Explorer) and the 'プロパティ' (Properties) window for the selected flow.

**ソリューション エクスプローラー**

- ソリューション 'XXX\_XXX\_XXX' (1)
- リポジトリ
- 6\_Data6
  - BP実数
  - 6\_1\_JSONデータ出力
    - フロー実数
    - エラーポリシー
  - 6\_2\_JSONデータ送信
  - 6\_3\_JSONデータ再投入
- 1\_Data1
- 2\_Data2
- 3\_Data3

**プロパティ**

6\_1\_JSONデータ出力 フロー特性

名	6_1_JSONデータ出...
説明	
パス	C:\Users\chink\Doc...
ID	1
自動編成	No
自動起動	No
DBトランザクシ	No
有効にする	Yes
アクティブ	Yes
最大インスタンス	0
リカバリ ポリシ	None
タイムアウト ポ	None
タイムアウト値(分)	0
コメント	
外部	
クリーンアップ	
エラー処理フロー	
ロジックフロー	
サブスクリプト	

名  
フローの名前。

**タスク結果: Project - XXX\_XXX\_XXX**

#	重大度	警告	メッセージ	BP/名称	フロー	ステップ/トリガー	コントロール名	説明
0	エラー	0	警告	0	メッセージ			

追加情報:  
タスク結果: Project 出力

# データマッパー：マウス操作でデータ変換と移行

The screenshot displays the Magic xpi Studio interface, a tool for data mapping. The main workspace is divided into three panes:

- Left Pane (Toolbox):** Lists various data sources and formats, including UDS, JSON, XML, and Flat File. The '全数' (All) group is selected.
- Center Pane (Mapping Area):** Shows a visual mapping between the '送元' (Source) and '送り先' (Destination) data structures. The source is 'UDSデータ' (UDS Data) and the destination is 'JSON'. Numerous lines connect source fields to their corresponding JSON fields.
- Right Pane (Solution Explorer):** Shows a project tree with folders for 'リボジトリ' (Repository) and '6\_Data6'. A 'プロパティ' (Properties) window is open, showing details for a 'ComplexField'.

The '送元' (Source) pane lists the following fields:

- om\_ptJd
- measurement\_date
- height
- weight
- belly
- bmi
- eyesight\_naked\_r
- eyesight\_naked\_l
- eyesight\_yeform\_r
- eyesight\_yeform\_l
- hearing\_ability\_r
- hearing\_ability\_l
- blood\_pressure\_h
- blood\_pressure\_l
- blood\_hemoglobin
- blood\_corpuscles
- ep1
- ep2
- r\_atp
- blood\_cholesterol
- neutral\_sat
- hdl\_cholesterol
- ldl\_cholesterol
- blood\_sugar
- hemoglobin
- protein
- sue
- uric\_acid\_level
- インプタス

The '送り先' (Destination) pane lists the following fields:

- ptId
- measurementDate
- height
- weight
- isBelly
- weight
- isBelly
- belly
- isBmi
- bmi
- isEyesightNaked\_r
- eyesight\_naked\_r
- eyesight\_naked\_l
- eyesight\_naked\_l
- eyesight\_yeform\_r
- eyesight\_yeform\_l
- isEyesightYeform\_r
- eyesight\_yeform\_r
- isEyesightYeform\_l
- eyesight\_yeform\_l
- isHearingAbility\_r
- hearing\_ability\_r
- isHearingAbility\_l
- hearing\_ability\_l
- isBloodPressure\_h
- blood\_pressure\_h
- blood\_pressure\_l
- isBloodPressure\_l
- blood\_pressure\_l
- isBloodHemoglobin
- blood\_hemoglobin
- isBloodCorpuscles
- blood\_corpuscles
- isGpt
- gpt
- isGpt
- ep1
- r\_atp
- isBloodCholesterol
- blood\_cholesterol

The 'プロパティ' (Properties) window shows the following information for a 'ComplexField':

- 説明: U.健康診断UDS
- パス: ノードタイプ Complex
- 名: U.健康診断UDS

The status bar at the bottom indicates '準備完了' (Ready).

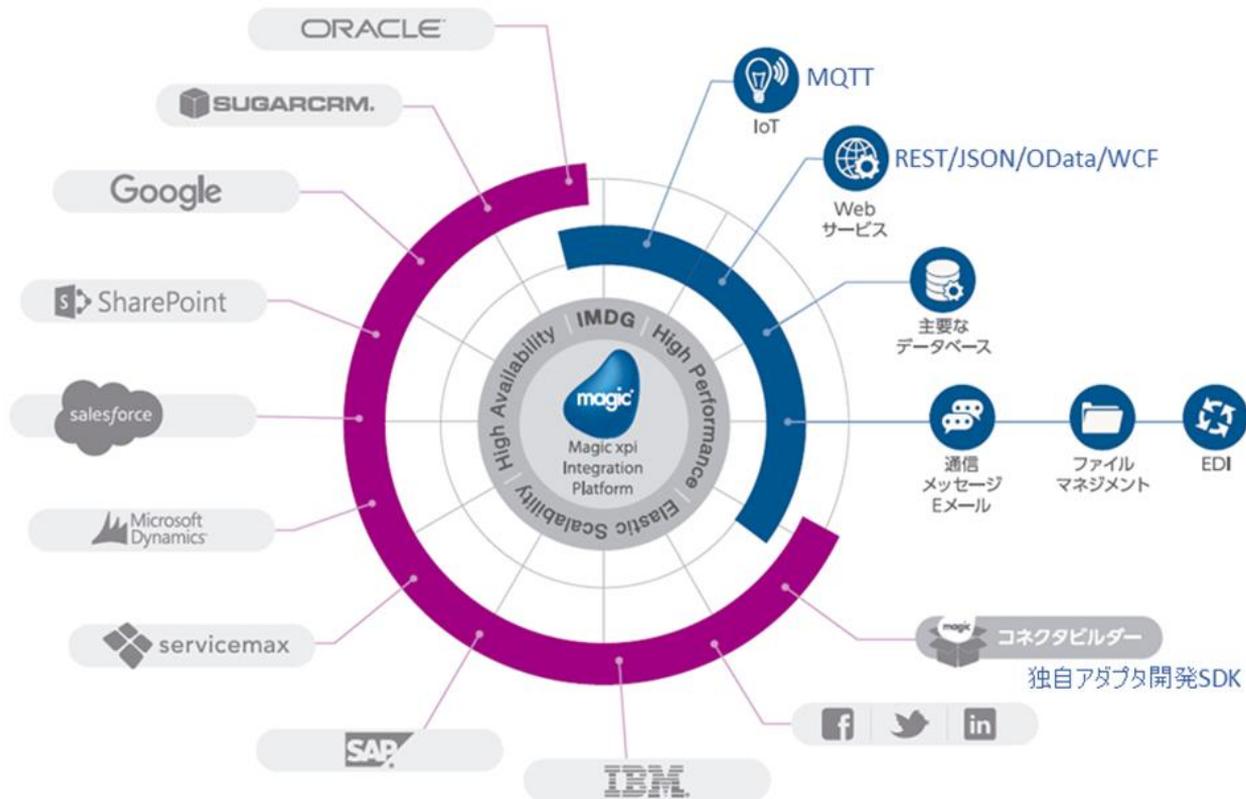
新しいアダプタを開発

ERP,クラウドベンダー  
から認定を受けた  
アダプタ群

# Magic xpi アダプタ

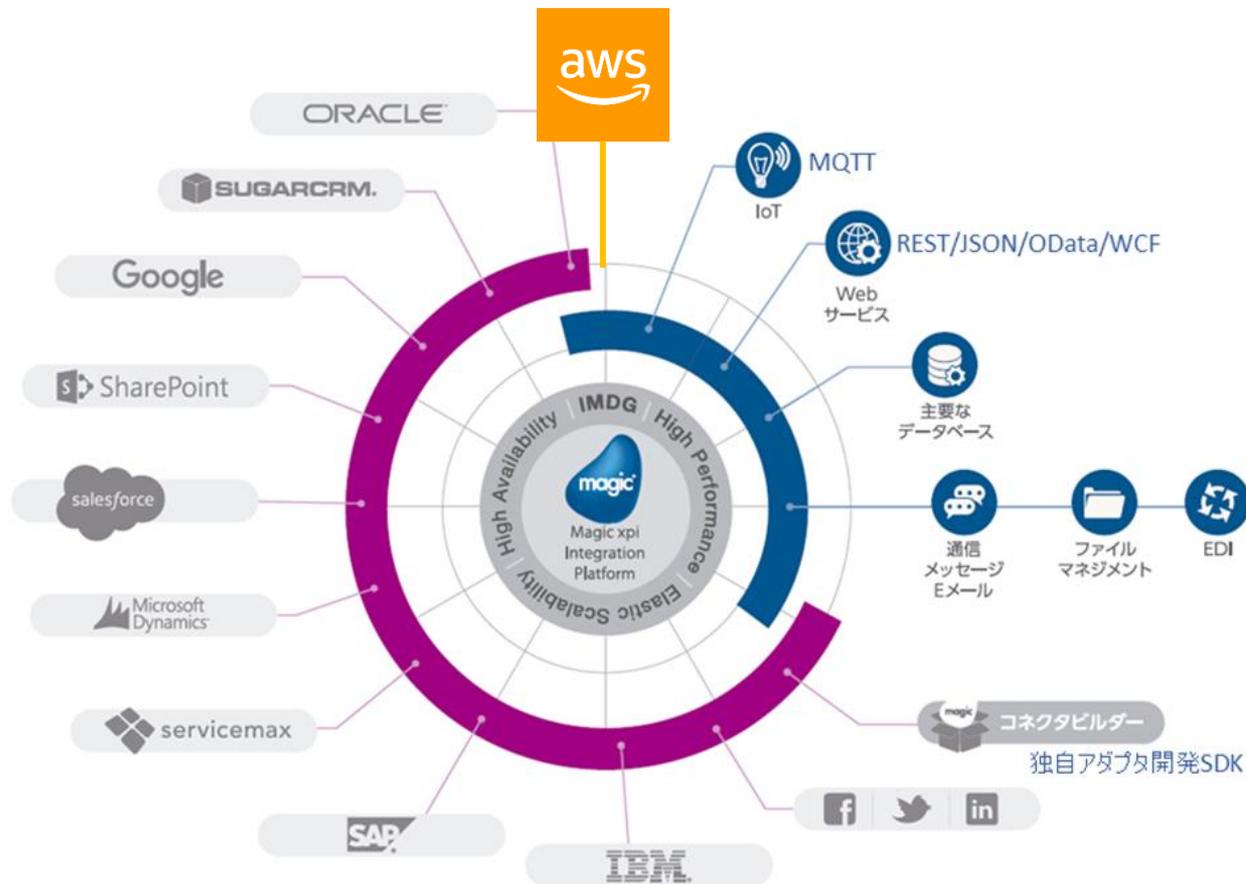


SAP® Certified  
Powered by SAP NetWeaver®



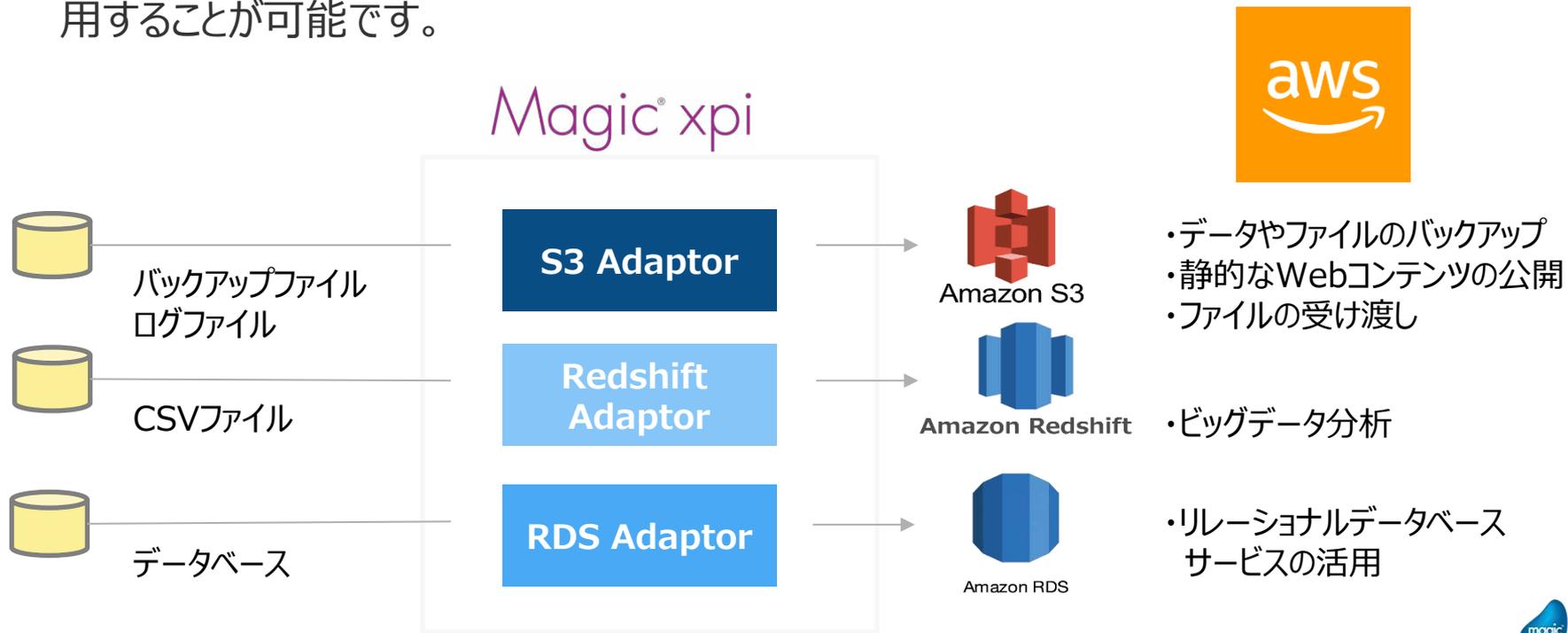
# Magic xpi AWSアダプタ

コネクタビルダーで  
(株)アイディーエスが  
開発したアダプタ



# Magic xpi AWS アダプタ 概要

- AWSアダプターを利用すると、AWSの可用性/冗長性が高い各種サービスを「すぐに」活用することが可能です。



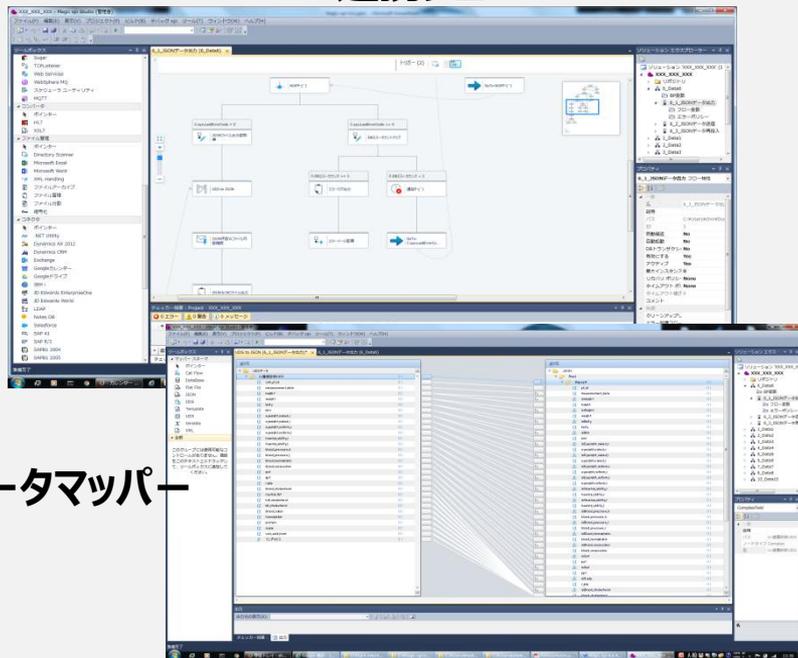
# ペーパーレスソリューション に 自動化をプラス

# Magic xpi の開発と実行

- SQL Server
- Oracle
- DB2/400

## 開発環境

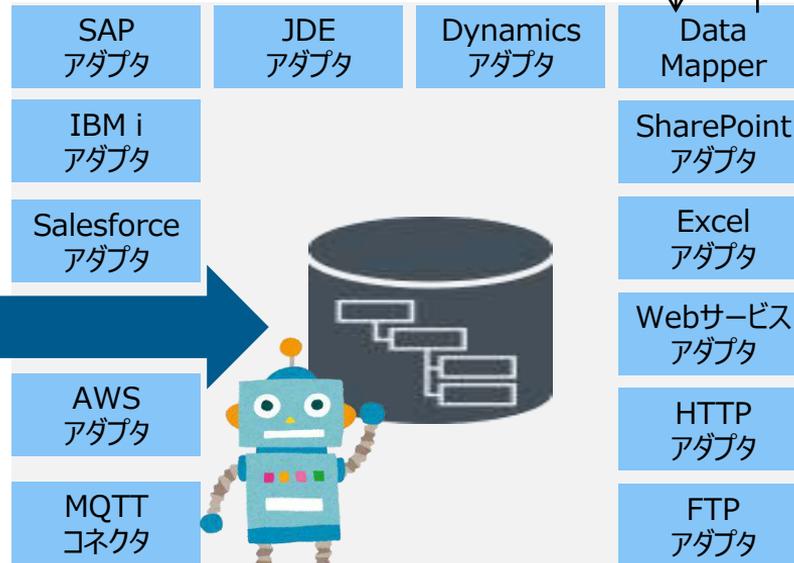
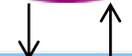
### 連携フロー



データマッパー

Magic xpi Studio  
Windows

## 実行環境



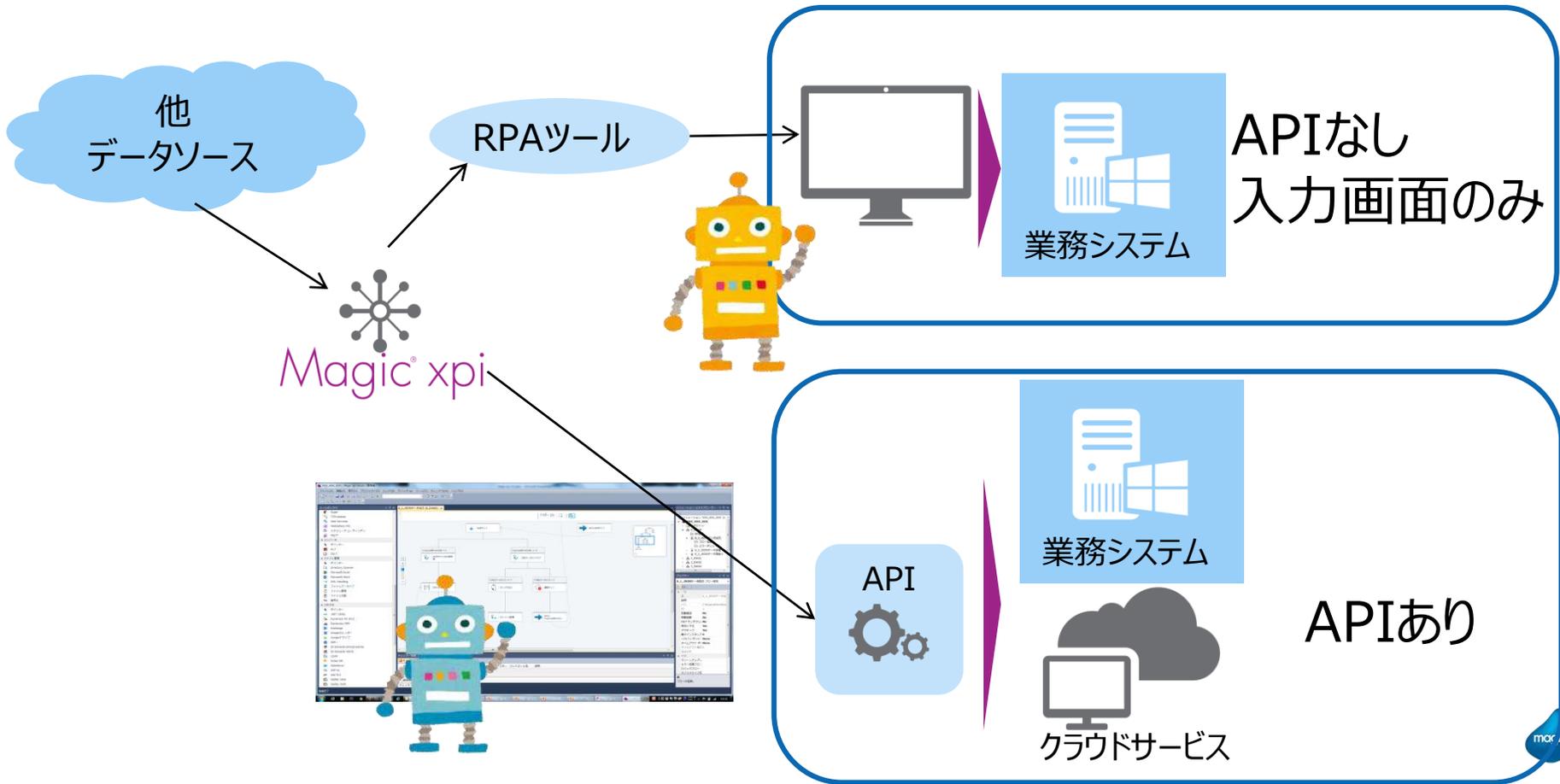
Magic xpi Server

Magic xpi Monitor

In-Memory Data Grid

Windows Server

# データ入力・処理の自動化



# 電子契約サービス

- 印紙税0円、最短数分で契約締結
- 締結から管理まで、クラウドでかんたんに
- 企業間取引における捺印書類(契約書、納品書、注文書、注文請書など)を電子化・電子署名し、ペーパーレス化とコスト削減を実現



## 3つのAgree

お客様の用途によって3タイプのサービスをご用意



月額1万円～

**電子署名タイプ**  
各種法令に対応し、  
証拠力も強力。  
権限管理の観点からも  
企業ユーザーに最適。



月額0円～

**電子サインタイプ**  
契約相手はメールアドレスさえあれば  
利用できるため、手軽に使える。  
BtoC取引に最適。



月額0円～

適切な検索機能を確保し  
**電子帳簿保存法にも対応**。契約  
書をクラウドで  
セキュアに一元管理

# GMO電子契約サービス「Agree」



本人確認・証明書発行・管理

電子認証局



# 電子契約ソリューション(電子契約サービスの入力画面)

契約を締結

文書のアップロード

文書情報の入力

署名位置の設定

文書情報

文書名 注文書\_XXXXX様向けMagiCap開発

所属

担当者 Agree子E 1.6-2

各種設定

フォルダ 未選択

追加

契約を締結

文書のアップロード

文書情報の入力

署名位置の設定

署名・押印のボックス（ペン先画像）をドラッグして署名位置を決定し、送信ボタンを押して操作を完了してください。

2018年 月 日

印：

自社ワークフロー

設定する

自社署名方法 実印版

自社署名者

署名者 Agree子E 1.6-2

メールで送信する はい いいえ

コメント

送信先

一括送信 設定する

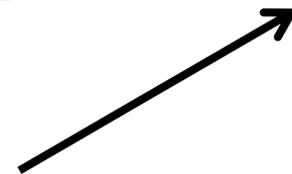
法人名又は氏名 担当者

メールアドレス

署名枚数 1 枚 複数する

コメント

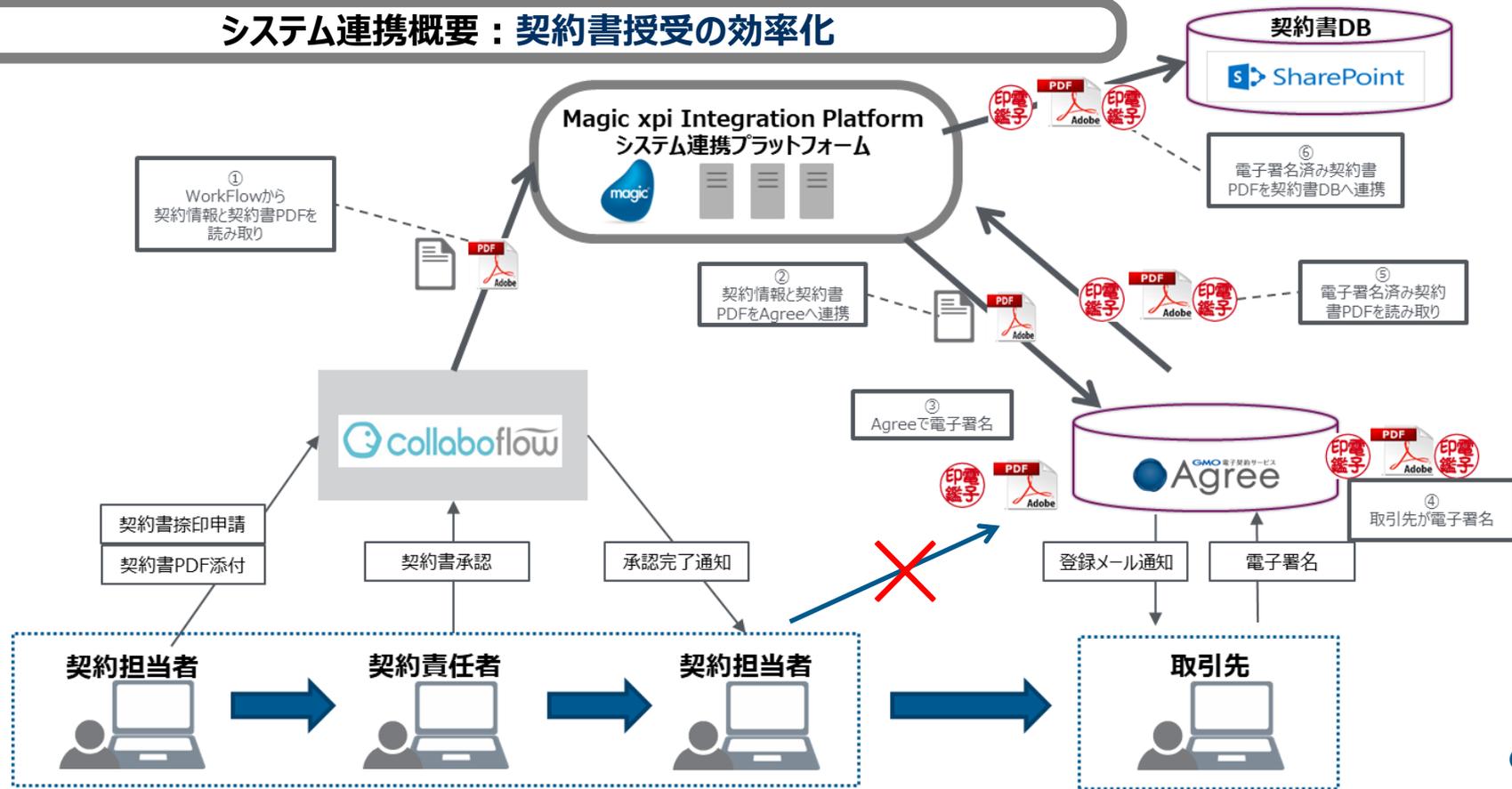
削除



“属性データの入力”、“署名位置設定”、“自社側の押印”をMagic xpiで自動化

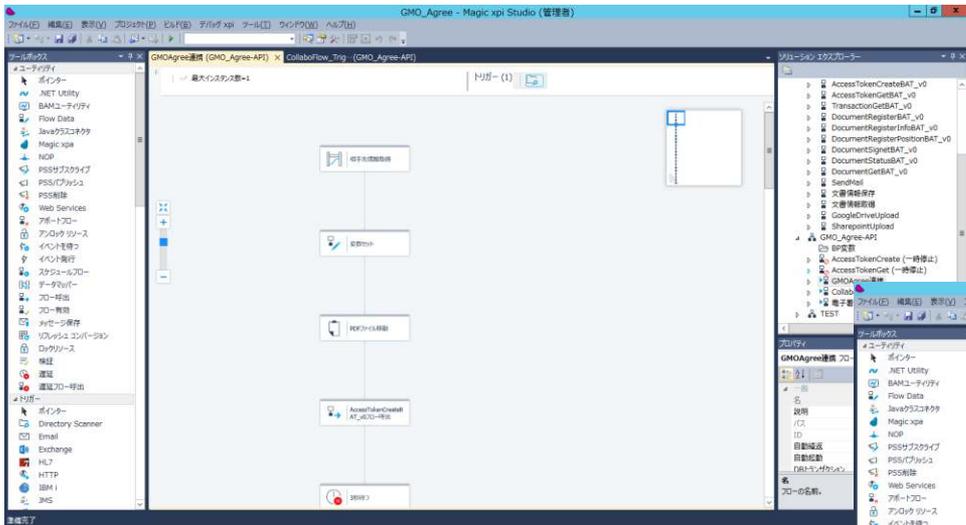
# 電子契約ソリューション(契約書授受の効率化)

システム連携概要：契約書授受の効率化

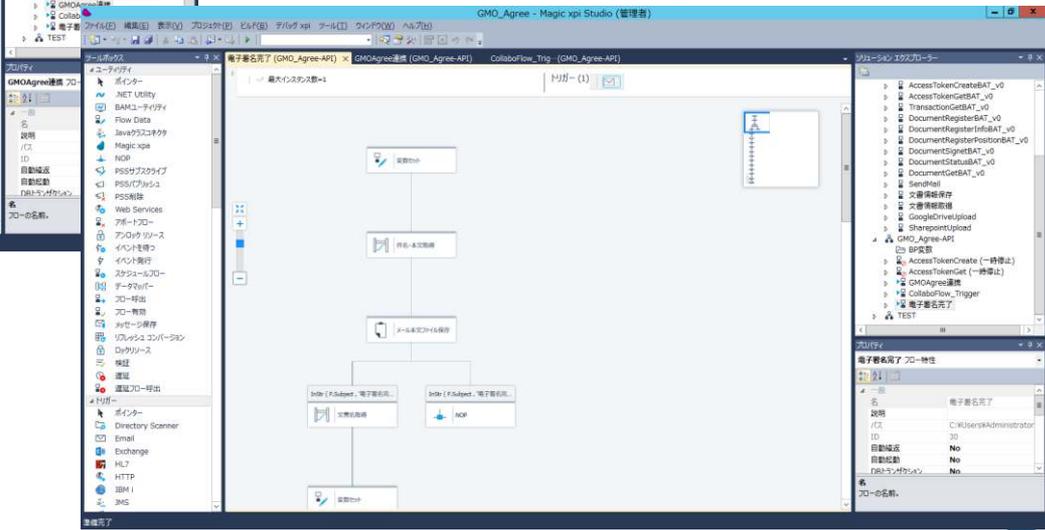


# 電子契約ソリューション(連携フロー)

## 例) GMO Agree連携フロー



## 例)電子署名完了メール通知トリガーフロー



# 電子サイン + PDFソリューション



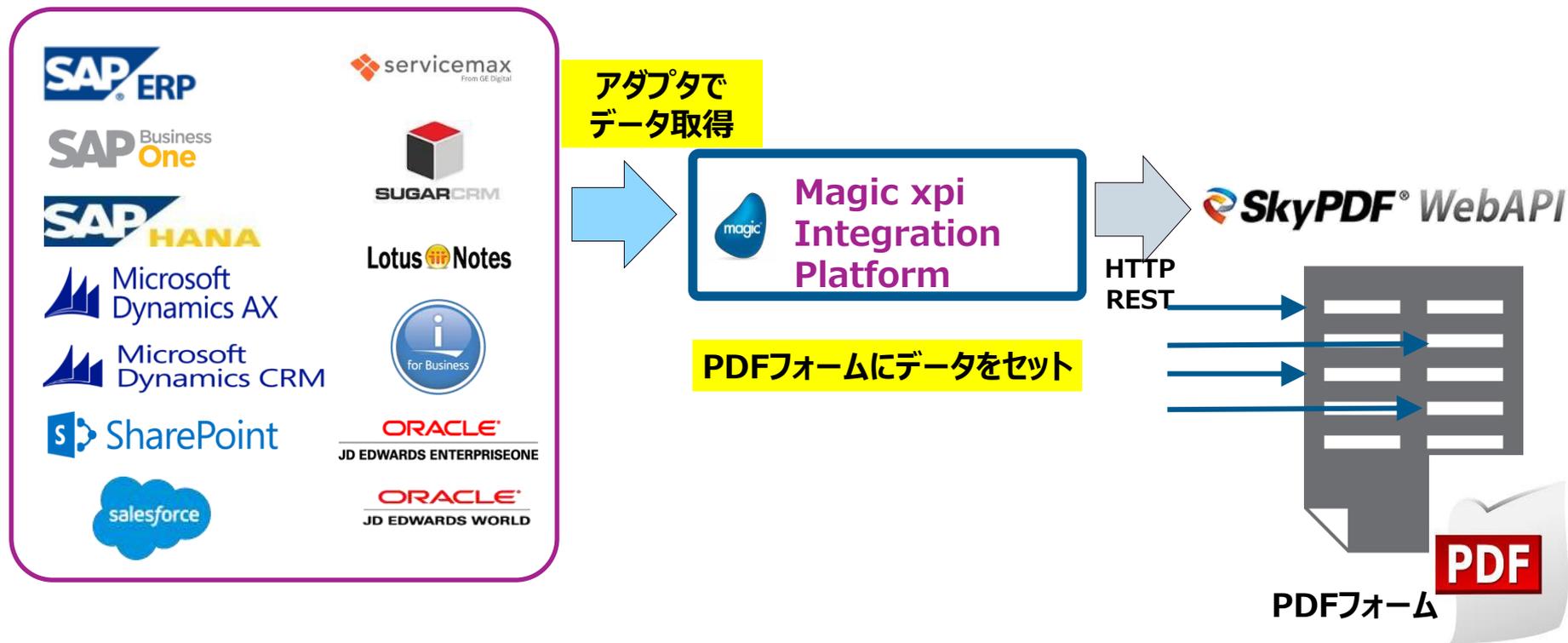
- PDF帳票とのデータ連携ソリューション
- 電子サインソリューション  
— iPadでPDFファイルに手書き文字入力

 **SkyPDF**® WebAPI

 **SkyPDF**® Touch Ink for iOS



# 他システムからPDF帳票へのデータ入力



# PDF帳票から他システムへのデータ連携

SkyPDF® Touch Ink for iOS

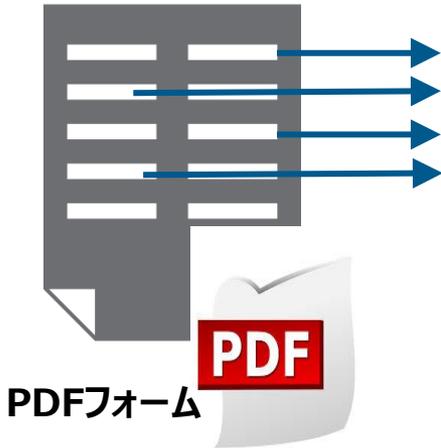
電子サイン  
PDFフォームの入カデータ

SkyPDF® WebAPI

HTTP  
REST



PDFフォームからデータ取得

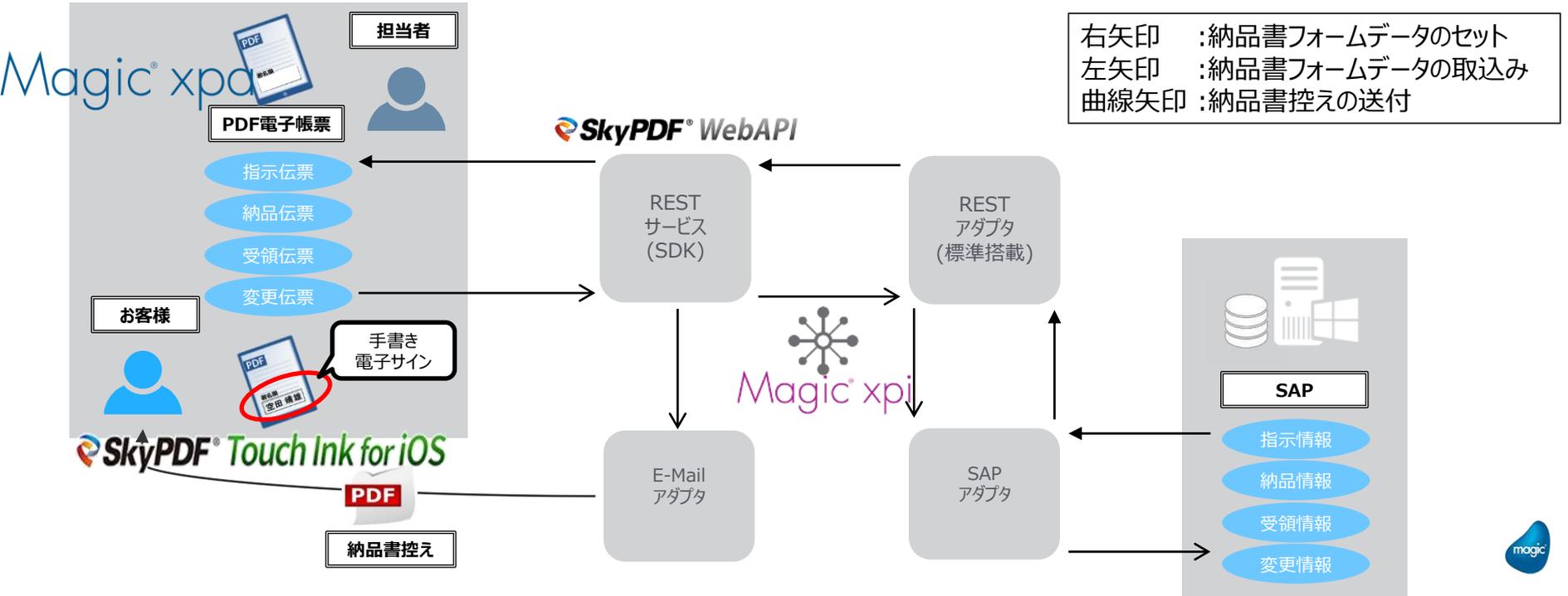


# PDF帳票と基幹システム間のデータ連携例

ユースケース：納品・検収の効率化(某卸売り配送業)

目的：紙ベースの煩雑な検収手続きの改善、見直し検収の廃止(IFRS対応)

効果：配送指示のデジタル化(ペーパーレス化)、検収の精度向上・自動化・効率化





Magic xpa 32





SkyPDF Touch Ink for iOS

納品書兼受領書を開く

閉じる







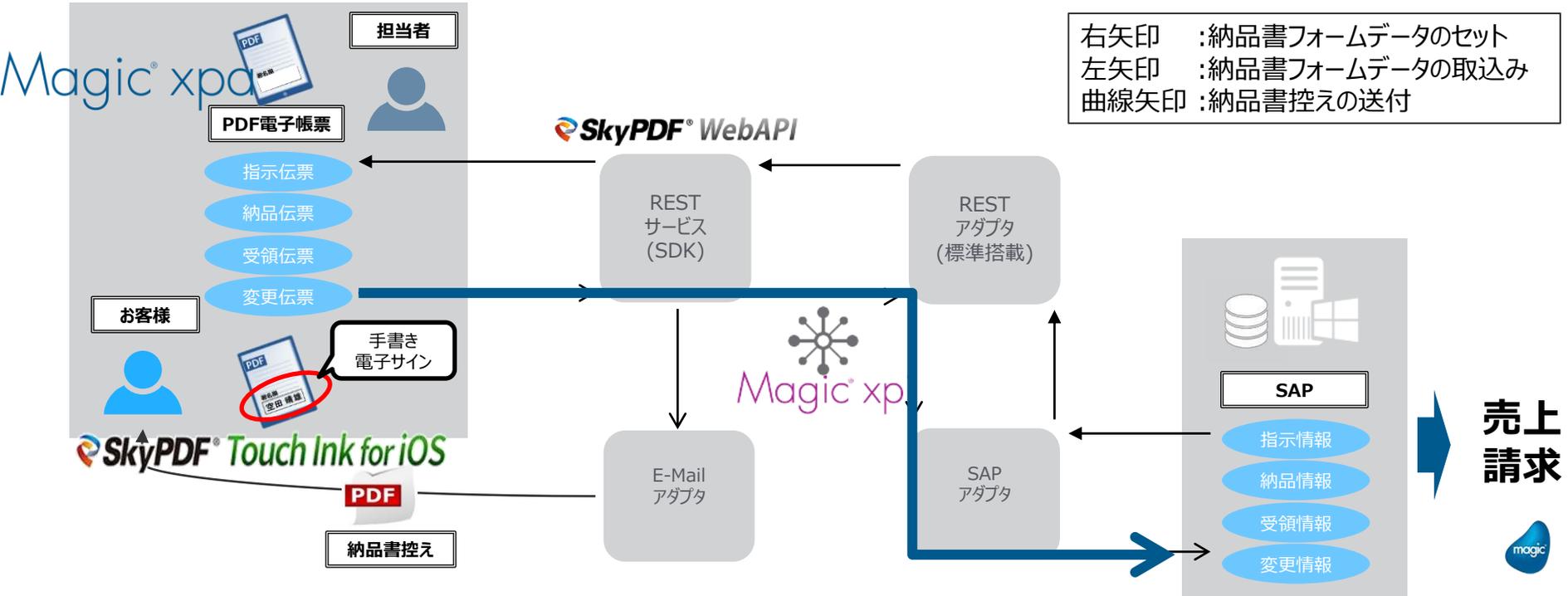


# PDF帳票と基幹システム間のデータ連携例

ユースケース：納品・検収の効率化(某卸売り配送業)

目的：紙ベースの煩雑な検収手続きの改善、見直し検収の廃止(IFRS対応)

効果：配送指示のデジタル化(ペーパーレス化)、検収の精度向上・自動化・効率化



**ソリューションに組み込む**

# マーケティングデータ統合

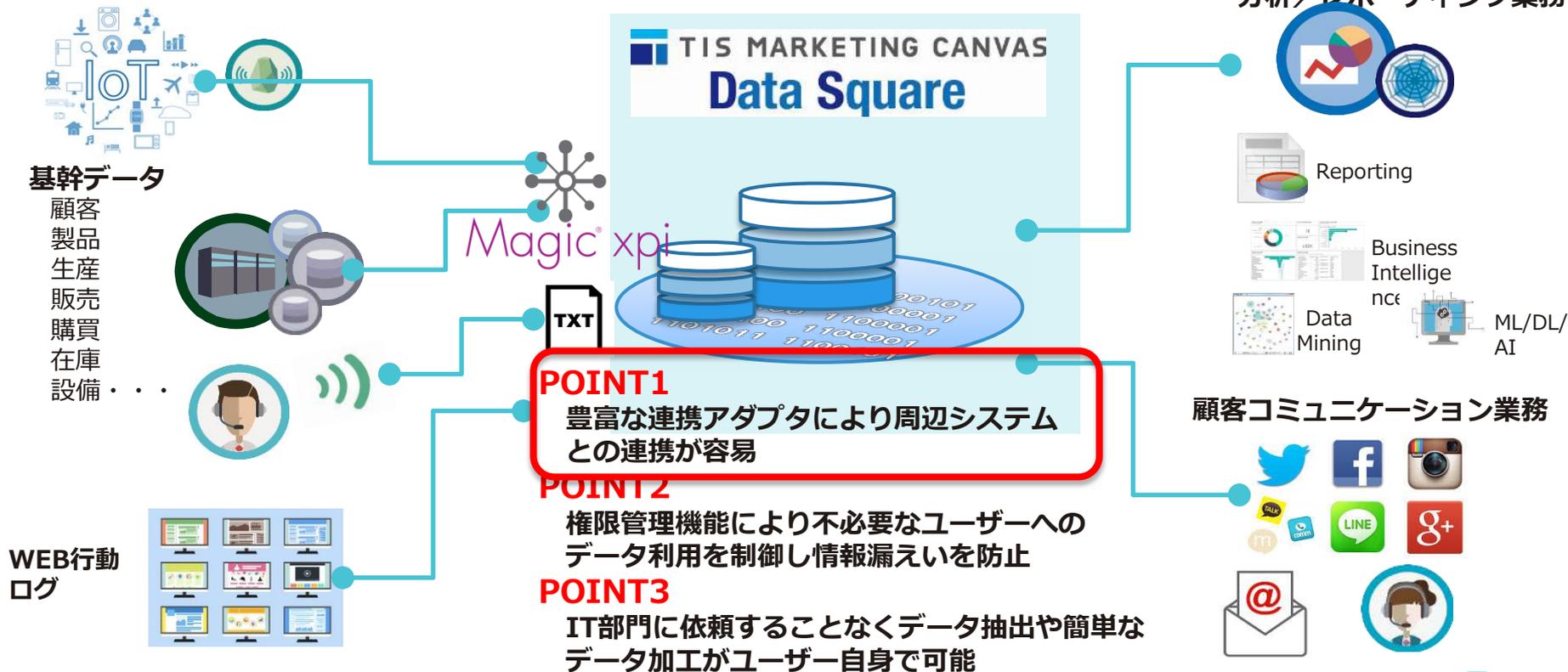
- TIS株式会社の、データマネジメント・クラウドサービス  
「TIS MARKETING CANVAS Data Square」



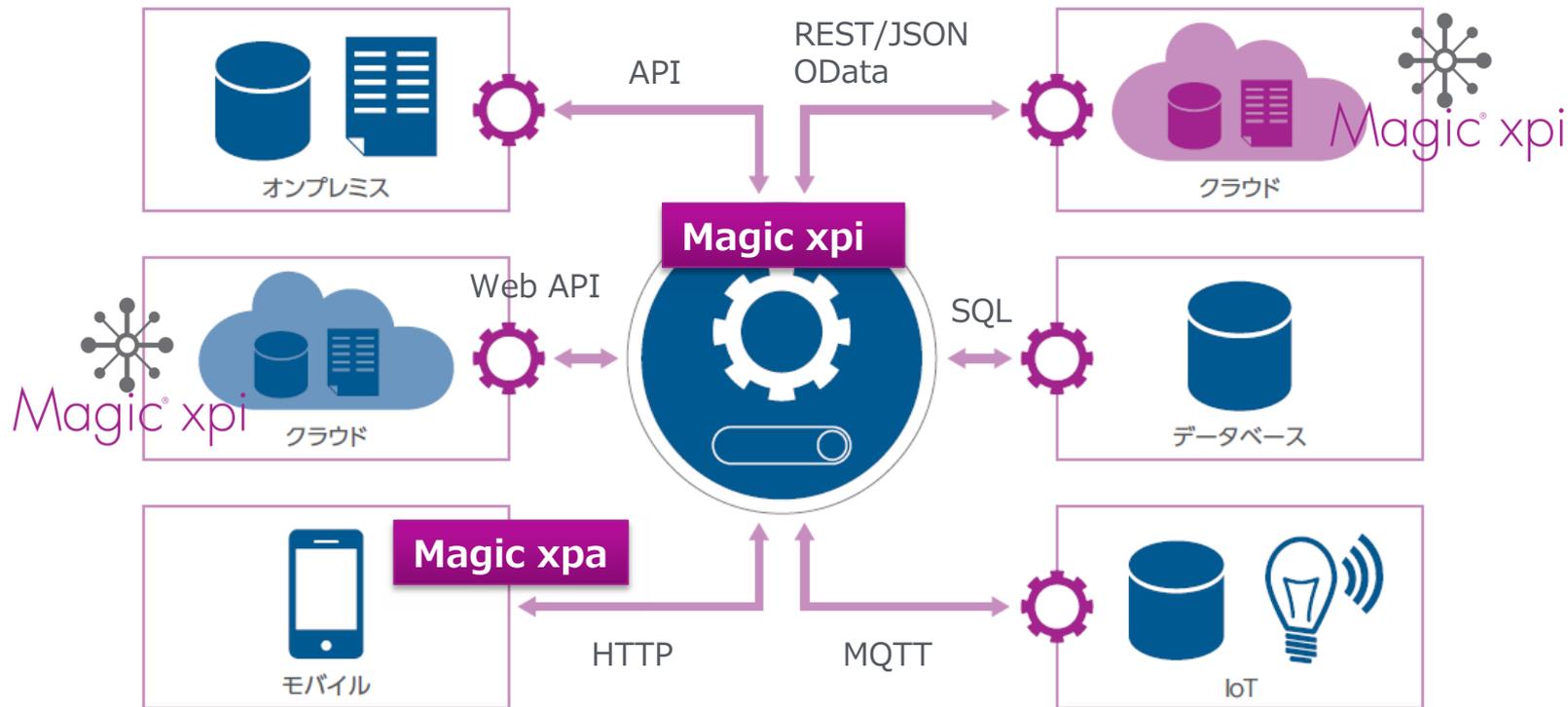
データ連携にMagic xpiを採用



「TIS Marketing Canvas Data Square」は、社内に散在している顧客データを、まとめてクラウド上に統合/連携できるデータマネジメントサービスです。CSVなどの構造化されたデータに加え、音声や画像などの非構造化データも統合管理。マーケティング担当者でも簡単にデータの利活用ができるシンプルな操作性を実現します。



# クラウドサービスにも求められるデータ連携



# Magic xpi

## 3つのビジネス活用

新しいアダプタをつくる

“つなぐ”ことでソリューションにする

ソリューションに組み込む





# Thank You!

[magicsoftware.com/ja](https://magicsoftware.com/ja)